

金融リテラシー講座

令和4年6月1日

2年生の家庭科・家庭基礎の授業で、近畿財務局から講師をお招きし、「高校生のための金融リテラシー講座」を実施しました。

今年4月からの成年年齢の18歳への引き下げに伴い、消費者教育や主権者教育の充実が一層求められています。そのことを踏まえ、今回は家計管理の重要性や収支バランス、資産形成やリスク管理の重要性について、そして金融トラブルとその対応について、専門的な外部講師による授業を実施しました。

生徒たちの様子を見てみると、自らが働いて生活することの実感に差があるためか、反応には差があるなと感じました。だからこそ今の段階で理解を深めていく必要があると言えます。

講座は2年生全員にクラスごとの実施で、本校だけで17日（金）までに9回講義していただくことになります。講師の方には感謝いたします。

なお、これが兵庫県内では初めての高校生への出前授業ということです。

